

流域治水対策(海岸)【農林水産省・国土交通省】

施策概要

津波・高潮による浸水対策として、必要堤防高の確保、液状化対策、粘り強い構造の海岸堤防の整備等及びソフト対策(津波浸水想定区域図の作成等)を実施

効果

大規模地震に伴う津波や台風等に伴う高潮による浸水を防止し、災害リスクが高い沿岸域の安全性を向上

全国的な対策と効果

対策1 津波や高潮による浸水を防ぐため、海岸保全施設を整備



津波から市街地を防護する水門整備

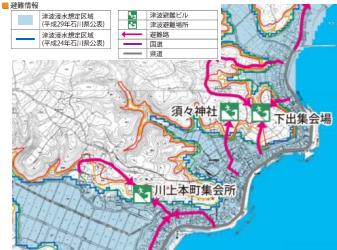


高潮等から市街地を防護する海岸堤防の整備

●「粘り強い海岸堤防」とは？

堤防が破壊・倒壊するまでの時間を少しでも長く、また堤防が全壊(完全に流出した状態)に至る危険性を低減した構造の海岸堤防。

対策2 地域の防災力強化に向けたソフト対策



ハザードマップの作成



階段・スロープ等の整備



情報掲示板の整備

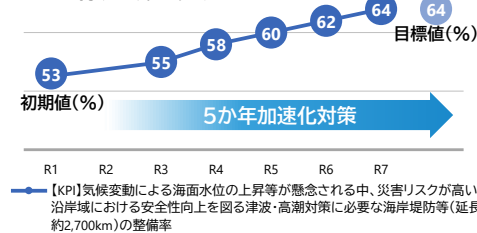
上記の他にも、津波・高潮に備えたハード・ソフト対策を全国で実施。

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
261億円	233億円	228億円
R6	R7	累計
230億円	156億円	1,109億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

■ 目標達成の見通し



整備事例

海岸堤防の地震津波対策により、沿岸部の浸水被害を防止する



香川県



香川県



香川県沿岸地域における地震・津波に強い海岸づくり(防災・安全)

■ 高松港海岸の整備(必要堤防高の確保)



護岸の整備により、対象地震発生後も背後地の浸水被害を未然に防止

■ 事業費

約127億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約14億円)(※1)

※1 香川県管理港湾海岸における事業費(I期計画)

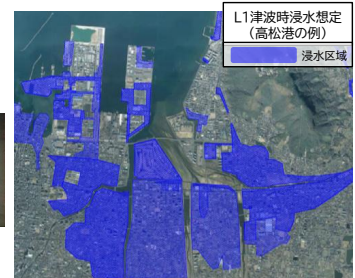
■ 事業の背景(地域の課題)

香川県高松市では、平成16年台風16号来襲時に、既往最高潮位を約50cm上回る高潮によって、大規模な浸水被害が発生しました。また、南海トラフ地震の切迫性が高まるなか、津波による甚大な浸水被害が想定されており、早急な対策が必要です。

香川県では、国の被害想定や報告等を踏まえ、地震・津波対策の施設整備を効果的かつ効率的に推進するため、平成27年に「香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画」を策定し、整備を推進しています。



H16年台風16号による高松市の被災状況



L1津波時浸水想定(高松港の例)

■ 事業の内容

発生頻度が比較的高い津波や高潮に対応した堤防を整備することで、浸水被害の減少させる。

堤防の整備においては、背後地や既存施設の状況などにより、整備時期の優先度を決定し、概ね10年間を整備目標とするI期とその後の概ね10~30年を整備目標とするII・III期に分けて実施する計画としており、令和6年に第I期(延長約29km)の整備が完了(※2)した。

※2 香川県管理港湾海岸事業



■ 見込まれる効果

第I期計画の完了により、香川県全域における浸水面積が約6割解消(※3)される効果が見込まれる。引き続き、II・III期の整備を促進し、県下の浸水想定面積:約2,980ha減少、被害額:約7,800億円減少を目指す。 ※3 香川県管理港湾海岸以外の事業による効果も含む